

＜第2世代を迎える次世代自動車の大変革＞ 自動走行するクルマが家と街づくりを変える

日 時 2014年11月7日(金) 午後1時～5時
会 場 SSKセミナールーム東京都港区西新橋2-6-2友泉西新橋ビル4F
主 催 株式会社 新社会システム総合研究所

I. 基調講演】自動走行に係る内外の取り組み状況について 【3:00～14:00】

国内外を問わず、交通事故や渋滞の低減等は大きな課題。今後、世界的に人口増大、都市の過密化、高齢化等が進展する中で、これらの課題は一層深刻化する。新たな対策である自動運転技術への期待は高く、市場拡大も見込まれる。自動運転技術の発展に向けた欧米や日本政府の動きについて概観する。

1. 交通事故・渋滞等の現状
2. 日本再興戦略等における自動走行の位置付け
3. 官民 ITS構想・ロードマップ
4. SP戦略のロードマップ
5. 経済産業省の取組み
6. 今後の課題
7. 質疑応答／名刺交換

このセミナーの
申込受付は終了しました

経済産業省 製造産業局 自動車課 電池・次世代技術・IT推進室 課長補佐 山家 洋志 氏

II. 大変革期を迎えるモビリティビジネスと将来展望 【4:10～15:30】

次世代自動車に大きな変革期が訪れようとしています。2015～2017年にかけて、次世代自動車の技術や環境が集中して揃ってくるからです。このような次世代自動車 第2世代では、クルマの概念が従来とは大きく異なり社会、そして家・街作りにも影響を及ぼすこととなります。今回はその大変革期を迎えるモビリティビジネスと将来展望についてご紹介いたします。

1. シンクロシティが起き始めている
2. もう一つの要素、ZEV2018MY問題
3. クルマは走るデバイスとなる
4. 家・街作りを支えるモビリティ
5. 将来展望
6. 質疑応答／名刺交換

エレクトロフィケーション コンサルティング 代表 和田 憲一郎 氏

III. 家×クルマがもたらすエネルギーの進化形 【5:40～17:00】

弊社はセキスイハイムブランドを通じ年間約1万棟の住宅販売を行っています。また1997年よりソーラー付き住宅を販売しており実績は14万棟です。環境リーディングカンパニーとして現在エネルギー自給自足型快適住宅の進化を進めております。今回発売させて頂いたVtoHeimは車と家が繋がって住まい手にさらに安心、快適、楽しさを生みます。その内容と今後の展望を詳しくご紹介いたします。

1. セキスイハイムの家づくり
2. 環境リーディングカンパニーとして
3. スマートハウス実績No1の実現
4. Vtoheimの詳細と今後の展望
5. 質疑応答／名刺交換

積水化学工業(株) 商品企画部 自立型住宅プロジェクトヘッド 太田 真人 氏